

SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク

～ 元気な SATOYAMA づくりの創出に向けて～

■ ネットワークの概要

SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークは、国内における「SATOYAMAイニシアティブ」の推進組織として、2013年9月に設立され現在、企業、研究機関、民間団体、行政など106団体の参加を得てスタートしました。

ネットワークでは、SATOYAMAイニシアティブの理念を踏まえつつ、国内における多様な主体がその垣根を越え、様々な交流・連携・情報交換等を図るためのプラットフォームを構築し、「生物多様性の保全」はもとより、元気なSATOYAMAを創出する「生業づくり」や地域資源を活用した「地域振興」を推進し、SATOYAMAにおける生物多様性の保全や利用の取組を国民的取組へ展開していくことを目的としています。

■ ネットワークのイメージ



SATOYAMAイニシアティブ

里山里海など人の営みを通じて形成・維持されてきた二次的な自然環境における生物多様性の保全やその持続可能な利用の促進のため、環境省及び国際連合大学高等研究所が中心となって提唱してきた取組です。

SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ (IPSI)

SATOYAMAイニシアティブの活動を促進するため、国・地方政府、研究機関、国際機関、NGO、民間企業等、多様な主体が参画し発足した国際パートナーシップです。167団体が参加しています。(2015.8月現在)

SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク は参加団体を募集しています。